

「本山寺山森林づくりの会」活動報告

武田 壽夫(記録、写真) 倉谷邦雄(写真)

日時：2017(平成 29)年 6 月 18 日(日) 9:30~15:30

気象：天候=曇時々日照り、気温(活動地区 WL500m 付近で 22℃)

活動エリア：「4 4 林班ろ」

活動内容：間・除伐後放置林の林床整備、並びに里道整備

参加者：泉家恵子、石原順子、斧田一陽、岡田輝子、小櫃徹夫、薦田佳一、倉谷邦雄、黒山泰弘、後藤和子、
武田壽夫、宮本 廣、福井 誠、 他 会員 1 名 計 1 3 名

<特報 2 件：自然観察会、さとり推進事業採択>

1 5 日(木)、JAC 関西支部「ゆるやか山行」のポンポン山コースの皆さんが山行の途次自然観察に立寄って下さる。久保和恵さん初め総勢 2 6 名(内、当会会員 6 名)の大人数で斧田、武田の二人でお迎え。作業小屋での概要説明、自然歩道をモミ、ツガ、アカガシ、イヌブナと見て登り、植樹やカシナガ対策の様子も紹介。昼食は本山寺山山頂。食後、尾根の西直下、先日林床を片付けた谷で記念撮影ののち、活動地域の北端までお見送り。森づくり活動に大いに興味を持って頂いた模様。

さて、今日は「さとり」事務局から事業採択の知らせがあったとのことで、29 年度の助成金対象の活動としては今日が初日。新入会員も加わり 1 3 人で、賑やかな活動日となる。予報は曇、雨の心配はなさそうで、「4 4 林班-ろ」の活動地に向う。

<林床整備、里道の整備。作業は「スムーズに？」進捗>

今日の活動地は「4 4 林班-ろ」の東側の尾根で「4 4 林班は-02」から西へ廻りこんだ一带とそこへの里道。尾根の東下方は小水源、西の谷は行場で間伐・除伐のあとがそのまま放置されている。また、里道は狭く路肩が弱い箇所が多く、往復の足下は要注意の箇所が多い。ただ、尾根腹は傾斜は急だが開けていて明るい場所ではある。

里道整備に 2 人、残る 11 名は 3 班に別れ、尾根の中央と左右、各々幅 20m 程の区画を分担する。尾根上までは約 50m。傾斜地で玉切りはともかく、適当な棚積み位置まで運ぶのは重さと足もとの滑り易さに相変わらず手古摺る。山体の土壌は崩れやすいこともある。また、ツバキ等の広葉樹は枝の始末に難儀する。何とか 60m×50m=0.3ha を綺麗にすることが出来た。

里道の方も土留めの杭打ちに一苦労。折から山に入っておられた本山寺副住職が「カケヤ」を貸して下さり、大いに捗った模様。危険箇所約 50m が仕上げられた。杭などの材料は放置木を利用。

<山で出あう「生きものの記録」>

キツツキやカケスの仲間の声は聴き分けられる人がいた。沢ではカジカガエル、空も水辺も爽やかな音色に満ちる。これが「森の靈気」かも。足下にはカタツムリとクモ。幸いまだダニは見ない。住職の話では今年「括り罟」で鹿 19 頭を捕獲、神峰山寺では罟にかかった猪に噛みつかれた話も。「生きもの」も相手によりけり、**厳重注意!**最後に、写真は自然観察会の模様も収録。併せてご覧下さい。

(本文 以上)



自然観察会(H29.06.15)－於:林床整備後の谷(魚津清和氏撮影)



自然観察会(H29.06.15)－於:作業小屋で



今日も元気一杯



活動地で先ず打合せ



今日は尾根に散乱する木々の整理



下部から作業開始



整備後



尾根東面で棚積み中



整備後の東面



山腹を切った里道の整備



路肩に杭打ちし残材で強化



歩き易くなった里道を踏みしめ帰途に



生きもの2題：一休み中のカタツムリ



クモさんどちらへ？